

様式 A-1
(FY2018)

平成 31年 2月 28日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山本 里美
2. 講師氏名: Dr. Loic VIENS
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 31年 2月 23日 (土) 10:30 ~ 12:00
5. 参加生徒: 1年生 75人、 2年生 1人、 3年生 0人 (合計 76人)
備考: (例:理数科の生徒) 2年生は希望参加者
6. 講義題目: Simulating earthquakes with seismic noise
7. 講義概要:
地震波がどのように建造物に影響を与えるか
地震計から得られたデータにより、次に起こりうる地震の地震波をシミュレートする
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
 - (1) 講義時間 75分 質疑応答時間 15分
 - (2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
動画を含んだパワーポイントスライド、プロジェクター使用による講義
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
外国人研究者本人による日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
地震波・専門用語に関する資料プリント
10. その他特筆すべき事項:

講義のスライド・構成に至るまで、大変丁寧に準備されており、そのことが生徒の理解を助け、興味・関心を高めたようです。多くの生徒がアンケートに「講義が分かりやすく、面白かった」と回答していました。質の高い講義をありがとうございました。